

## 藤枝市立稲葉小学校で身近な果物を使った電池を作り 電気について学ぶ学習講座を行いました！

環境衛生科学研究所では、当研究所の役割や業務について理解を深めていただくため、藤枝市の小中高生を対象とした講座（学習会）を実施しています。

今回は、藤枝市立稲葉小学校において、学校での理科の学習に役立ててもらえるよう、同校児童を対象に身近な果物を使った電池を作り、電気について学ぶ学習講座を行いました。

- 1 日 時  
平成29年2月21日（火） 10時30分～11時15分（3時限目授業（理科））
- 2 場 所  
藤枝市立稲葉小学校（藤枝市堀之内）
- 3 対 象  
藤枝市立稲葉小学校6年生 24人
- 4 内 容  
実 習：身近な果物で電池を作り、なぜ電気が流れるかを学びました。  
（電子オルゴールに接続し音が出るかを確認しました。）



果物電池の作成方法の説明



果物は児童自身で切りました。



オルゴールの音が出るか確認しました。

教頭先生からは、「果物を使った電池から電気が流れることを児童が学べて良かった。電気が流れる仕組みについては小学校では学ばないが、今後、中学校で電子について学ぶ上でいいきっかけになったと思う。」といった感想をいただきました。

- 5 本年度開催実績（生徒・児童 141人が受講しました。）

1	月日	平成28年12月21日（水）
	対象	藤枝順心中学・高等学校 各学級の保健委員 38人
	内容	感染症の予防（講義と手洗い実習）
2	月日	平成29年1月23日（月）
	対象	藤枝市立稲葉小学校 3年生 23人
3	月日	平成29年1月31日（火）
	対象	藤枝市立広幡中学校 2年生56人
4	内容	感染症の予防（講義と手洗い実習）、下水の浄水処理（実験）
	月日	平成29年2月21日（火）
	対象	藤枝市立稲葉小学校 6年生24人
	内容	電気の学習（果物で電池を作る実験）